

記述方法のポイント

☆ 「書かぬき」問題のポイント

①そのまま書く。

設問に

「…ぬき書きしなさい」

「…文中より書きぬいて答えなさい」

「…そのまま書きなさい」

「…文章中の言葉をあてはめて答えなさい」

「…文章中よりさがしなさい」

などと書かれている場合は、文章中の「」を、一字一句、形を変えずにそのまま答えなくてはなりません。文中に使われているのが漢字であれば漢字、ひらがなであればひらがな、カタカナであればカタカナをそのまま使います。「」「。」その他のかっこや記号も文中のまま使います（ぬき書きする部分の最後に「」「。」がある場合は、字数によって書かない場合もあります）。自分でそのことばの形を変えることはできません。

②できるだけ――線部にあてはまるように答える。

例1、「」の花」」のさしている内容を文中より書きぬいて答えなさい。

私の学校には桜の花がたくさん咲いています。」の花は昔から日本人がもっとも愛した花の一つです。

」の場合、――線部「」の花」の部分に当てはめて文がうまく通じるのは「桜の花」ですね。

桜の花

…」の花は昔から日本人がもっとも愛した花の一つです。

例2、――線部のさしている内容を文中よりぬき書きしなさい。

私は秋のぬけるような青空が好きです。そんな天氣の日には――

田中外で遊んでいたい気分になります。

この場合、――線部「そんな」の部分に当てはめて、うまく文が通じる
言葉はあるでしょうか。

a、…~~秋~~の天氣の日には
秋の

b、…~~秋~~の天氣の日には
ぬけるような

c、…~~秋~~の天氣の日には
青空

「b」は一見うまく当てはまっているように見えますが、「ぬけるような」
は「青空」という言葉をくわしく説明している語なので、これは正しくあり
ません。

例2の――線部「そんな」をもう少し広いはんいでとらえてみましょう。
「そんな天氣の日」とはどんな日でしょうか。「秋のぬけるような青空」の
日だと考えられます。したがってここでは――線部にうまく当てはまらない
けれども、「秋のぬけるような青空」(あるいは「ぬけるような青空」)
というのが、もっとも良い答になります。

☆ 「まとめる」問題のポイント

①――線部に合うようにまとめる。

設問に

- 「…何をさしていますか。」
- とだけあって、「抜き書き」の指示がない場合や、
- 「…自分でまとめなさい。」
- 「…文中の言葉を使って答えなさい。」
- 「…文章中のことばを使って答えなさい。」
- 「…まとめて答えなさい。」

I、記号で答える

問題

次のぼう線部の指し示している言葉を、ア～コから選んで記号で答えなさい。

例、私は三十六色の色えんぴつをもっています。これは私の大切な宝物です。

ア、私
イ、三十六色
ウ、色えんぴつ
エ、もつていること
オ、宝物

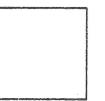
ウ

1、ぼくは毎日、自転車に乗っています。それはきょ年のたん生日に、お父さんには買ってもらつたものです。それはお父さん

ア、ぼく
イ、毎日
ウ、自転車
エ、きょ年
オ、たん生日

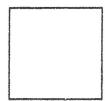
2、妹は、にんじんがきらいです。でもそれは体にいい食べ物です。

ア、妹
イ、にんじん
ウ、きらいなこと
エ、体
オ、食べ物



3、お父さんはゴルフが好きです。それをするために、毎週日曜日には、朝早くから出かけます。それは朝早く

ア、お父さん
イ、ゴルフ
ウ、好きなこと
エ、毎週
オ、日曜日



4、私はワープロがほしいのですが、それは高くてなかなか買えません。
ア、私
イ、ワープロ
ウ、ほしいこと
エ、高いこと
オ、なかなか

カ、買えないこと

5、お母さんは毎日買い物に出かけます。それを毎日続けるのは大変なことだと思いました。それはお母さん

ア、お母さん
イ、毎日
ウ、買い物



二、書きながれ

①

問題 次のぼう線部の指示している言葉を、指定された字数で文中より書き抜いて答えなさい。

例、裏山に一本の桜の木があります。それは毎年春になると美しい花を咲かせます。(3字)

桜の木

1、食事の後に歯をみがくことは、虫歯の予防になります。また、それは気分をさわやかにする効果もあります。(7字)

2、

飲み水とかんづめはいつも家に用意しておきましょう。なぜならそれは、非常の時に役につからです。(8字)

3、

ここにメロンがあります。あちらにいちじょうがあります。これとあれとではどちらがあなたは好きですか。(これ…3字、あれ…3字)

これ

あれ

4、

わが日本はアメリカより小さな国です。しかし、この国には古い伝統と文化があります。(4字)

5、

きのう先生が宇宙の話をして下さいました。ぼくはその話を聞いてから、毎日空をながめています。(4字)

6、

お父さんは裏山を見ながら、「あの山はお父さんが子供のころ、毎日のように登つて遊んでいた山なんだ。」と言いました。(2字)

7、

私は遠足で大きな神社に来ています。ここには美しい庭があり、近所の人達が良く散歩に来るそうです。(5字)

二、書きなれ ②

問題 次のぼう線部の指し示している言葉を、□にあてはまるように、文中より書き抜いて答えなさい。

例、今日は日曜日です。久しぶりの晴れで、ぽかぽかと暖かく、こんな日にはどこか遠くへ出かけたります。

ぱ か ぼ か と 暖 か い、

晴 れ た 日 曜 日 。

1、宿題を忘れてきた人は、その理由をきちんといいなさい。

□ □ □ □ □ □ 理由

2、父は日曜日はいつも家でじろじろしていきます。でもそれが、父が元氣で働いてくれるひけつです。

□ □ □ □ □ □ いる」と。

3、私は、京に上りとうございます。他に何もりません。それだけが私の唯一の望みなのでござります。

□ □ □ □ □ □ たい、という。

4、ぼくは弟をたたいた。ほっぺたをバシッとした。ぼくはカツとなつていた。弟は火が付いたように泣き出した。こんな事がいいはずがない。ぼくがかつとなつただけで、弟は悪くなかったんだから。

□ □ □ □ □ □ な つ て

事。